

お子さんは

# インフルエンザ予診票

6ヶ月～2才 1回 3000円

3才以上 1回 3500円

## 母子手帳

必ず必要

6ヶ月～12才 2回接種

13才以上 1回接種

診察前の体温

度 分

住所	携帯 ( )			—
フリガナ		男	生年	昭和・平成・令和
予防接種を受ける人の氏名		・	月日	年 月 日生
(保護者の氏名)		女	(	才 ヶ月)

質問事項	回答欄		医師記入欄
1. 今日受けられる予防接種について説明文を読んで理解しましたか	はい	いいえ	
2. 今日受けられるインフルエンザの予防接種は今シーズン何回目ですか	1回目	2回目	
3. 今日、普段と違って具合の悪いところがありますか	ある (具体的に)	ない	
4. 現在、何かの病気で医師にかかっていますか	はい (病名)	いいえ	
5. 最近1ヶ月以内に何か病気にかかりましたか	はい (病名)	いいえ	
6. 最近1ヶ月以内に近親者や周囲に麻疹、風しん、水痘、おたふくかぜなどにかかった方がいますか	いる (病名)	いない	
7. 最近4週間以内に予防接種を受けましたか	はい (予防接種名)	いいえ	
8. 今までに予防接種を受けて、具合が悪くなったことがありますか	はい (具体的に)	いいえ	
9. 今までに特別な病気 (先天性異常、心臓、腎臓、肝臓、血液、脳神経、免疫不全症、悪性腫瘍、その他) にかかったことがありますか	ある (病名)	いいえ	
10. 今までにひきつけ (けいれん) を起こしたことがありますか	ある ( 最後は 年 月ごろ )	ない	
その時、熱はでましたか	はい	いいえ	
11. 薬や食品 (鶏卵、鶏肉など) で皮膚に発疹やじんましんが出たり、体の具合が悪くなったことがありますか	ある (薬、食品名)	ない	
12. 近親者に先天性免疫不全の方はいますか	いる	いない	
13. 【女性の方に】現在、妊娠していますか	いる	いない	
14. その他、健康状態のことで医師に伝えておきたいことや質問があればご記入ください			

医師の記入欄：以上の問診および診察の結果、今日の予防接種は ( 可能 ・ 見合わせる ) 医師の署名

本人 (もしくは保護者) に対して、予防接種の効果、副反応および医薬品医療機器総合機構法に基づく救済について、説明した

医師の診察・説明を受け、予防接種の効果、副反応などについて理解したうえで、今日の予防接種を受けますか。( 受けます ・ 見合わせます )

署名 (本人もしくは保護者)

使用ワクチン名・メーカー名	接種量	実施場所・医師名・接種日
Lot No.	<b>0.25m l</b> (6M~2才)	実施場所 いまづ小児科
	<b>0.5ml</b>	医師名 今津 美由紀
		接種日 令和 年 月 日

# インフルエンザワクチンの接種について

インフルエンザの予防接種を実施するに当たって、受けられる方の健康状態をよく把握する必要があります。そのため、1枚目の予診票に出来るだけ詳しくご記入下さい。お子さんの場合には、健康状態をよく把握している保護者がご記入下さい。

## 【ワクチンの効果と副反応】

予防接種により、インフルエンザの発病を阻止したり、インフルエンザによる合併症や死亡などを予防することが期待されます。

一方、副反応は一般的に軽微です。注射部分が赤くなる、腫れる、硬くなる、熱をもつ、痛くなる、しびれることがあります。通常は2～3日で消失します。発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、一過性の意識消失、めまい、リンパ節腫脹、嘔吐・嘔気、腹痛、下痢、食欲減退、関節痛、筋肉痛なども起こることがありますが通常は、2～3日で消失します。過敏症として、発しん、じんましん、湿しん、紅斑、多形紅斑、かゆみなども起こります。その他に、顔面神経麻痺などの麻痺、末梢性ニューロパチー、ぶどう膜炎があらわれることがあります。強い卵アレルギーのある方は、重篤な副反応を生じる可能性がありますので必ず医師に申し出て下さい。非常にまれですが、次のような副反応が起こることがあります。(1)ショック、アナフィラキシー様症状(じんましん、呼吸困難など)、(2)急性散在性脳脊髄炎(接種後数日から2週間以内の発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害など)、(3)ギラン・バレー症候群(両手足のしびれ、歩行障害など)、(4)けいれん(熱性けいれんを含む)、(5)肝機能障害、黄疸、(6)喘息発作、(7)血小板減少性紫斑病、血小板減少、(8)血管炎(アレルギー性紫斑病、アレルギー性肉芽腫性血管炎、白血球破碎性血管炎等)、(9)間質性肺炎、(10)脳炎・脳症、脊髄炎、(11)皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、このような症状が認められたり、疑われた場合は、すぐに医師に申し出て下さい。なお、健康被害(入院が必要な程度の疾病や傷害など)が生じた場合については、健康被害を受けた人又は家族が独立行政法人 医薬品医療機器総合機構法に基づいて救済手続きを行うこととなります。

## 【予防接種を受けることができない人】

1. 明らかな発熱のある人(37.5℃以上の人)
2. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
3. 過去にインフルエンザワクチンの接種を受けて、アナフィラキシーを起こしたことがある人  
なお、他の医薬品投与を受けてアナフィラキシーを起こした人は、接種を受ける前に医師にその旨を伝えて判断を仰いで下さい。
4. その他、医師が予防接種を受けることが不相当と判断した人

## 【予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなければならない人】

1. 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液の病気などの人
2. 発育が遅く、医師、保健師の指導を受けている人
3. かぜなどのひきはじめと思われる人
4. 予防接種を受けたときに、2日以内に発熱のみられた人及び発しん、じんましんなどのアレルギーを疑う異常がみられた人
5. 薬の投与又は食事(鶏卵、鶏肉など)で皮膚に発しんがでたり、体に異常をきたしたことがある人
6. 今までにけいれん(ひきつけ)を起こしたことがある人
7. 過去に本人や近親者で検査によって免疫状態の異常を指摘されたことのある人
8. 妊娠している人
9. 間質性肺炎、気管支喘息などの呼吸器系疾患のある人

## 【ワクチン接種後の注意】

1. インフルエンザワクチンを受けたあと30分間は、急な副反応が起きることがありますので、様子を観察し、医師とすぐに連絡がとれるようにしておきましょう。
2. 接種部位は清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
3. 接種当日はいつも通りの生活をしましょう。激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
4. 万一、高熱やけいれん等の異常な症状がでた場合は、速やかに医師の診察を受けて下さい。